

東京都住宅供給公社 第119回評議員会議事録

1 開催日時

平成31年3月27日（水）午前10時30分から午前11時30分まで

2 開催場所 京王プラザホテル44階ハーモニー 東京都新宿区西新宿2-2-1

3 出席者

(1) 評議員総数 12名

(2) 出席評議員 10名

評議員 おじま 紘平 評議員 山田 ひろし 評議員 菅原 直志

評議員 中山 信行 評議員 小松 大祐 評議員 池川 友一

評議員 齋藤 明 評議員 佐々木 宏 評議員 千葉 茂寛

評議員 野口 宏幸

(3) 出席した役員数 6名

理事長 邊見 隆士 理事 細渕 順一 理事 永島 恵子

理事 千葉 裕 理事 今村 保雄 監事 廣瀬 秀樹

(4) その他の出席者 11名

公社住宅事業部長、ストック活用推進担当部長、少子高齢対策部長、
住宅計画部長、住宅営繕部長、営繕・工事監理担当部長、住宅営繕部担当部長、
公営住宅管理部長、窓口運営部長、総務部長、総務部担当部長

4 議長

評議員 佐々木 宏

5 議題及び報告事項

第1 平成31年度事業計画

第2 平成31年度予算

報告事項 公社の賃貸住宅の修繕負担区分の見直しについて

6 議事の経過

- (1) 事務局より、評議員総数12名のうち10名が出席しており、評議員会規程第七条第三項により本会が成立していることを報告した。
- (2) 邊見理事長の挨拶の後、佐々木議長が議事録署名人の選出方法を諮り、議長一任の声を受けたため、山田ひろし評議員及び齋藤明評議員を議事録署名人とすることを諮り、了承を得た。
- (3) 佐々木議長は、議題第1、議題第2及び報告事項について一括して公社から説明を受け、その後意見を受けることを評議員に確認し、細渕理事が議題第1、議題第2及び報告事項について説明した。

佐々木議長が意見等の有無を確認したところ、評議員から主に以下の意見等があった。

- ・ 近居制度など高齢者や子育て世帯への社会ニーズに対応した入居支援にくわえて、ひとり親世帯への支援についても取り組みを始めたことは公的な住宅事業者として大変意義がある。
- ・ 大阪北部地震での事故を踏まえ、事業計画にあるブロック塀の安全対策を着実に実施し、都民が安心して暮らしていけるよう努めてもらいたい。
- ・ 格付けがAA-からAAフラットに上がった。これは信用力が高く、優れた要素があるという評価である。収益力を高め、さらに自己資本比率を上げるよう努めてもらいたい。
- ・ 修繕負担区分の見直しについて、工事店との対応等、準備をしっかりと整えてもらいたい。あわせて、住民の方々にも負担区分の実施項目や実施内容についてしっかりと周知していただきたい。
- ・ 都営住宅では、高齢者が買い物の際、集会所で行っている介護福祉サービスを利用できるといった社会参加をうながす取り組み例がある。是非こうした生活支援サービスを地域と連携し充実させてほしい。
- ・ 募集パンフレットの記載に誤りがあったと聞いている。募集業務においては公平かつ正確さが求められる。再発防止の取り組みを行ってほしい。
- ・ D I Y住宅など、若い人たちの入居を促進する取り組みを積極的に進めて新しいコミュニティが生まれるよう検討を進めてほしい。
- ・ 単身の高齢者が増える中、地域の包括ケアシステム等、区市や自治会との連携を深めてより踏み込んだ取り組みができないか、検討してほしい。

以上により、第119回東京都住宅供給公社評議員会の議事を全て終了し、佐々木議長は午前11時30分に閉会を宣言した。

令和元年5月20日

議 長 評議員 佐々木 宏 ⑩

議事録署名人 評議員 山 田 ひろし ⑩

議事録署名人 評議員 齋 藤 明 ⑩